

フジバカマ *Eupatorium fortune*

植物名・薬物名・科名：フジバカマ、佩蘭（ハイラン）・蘭草 キク科

寄贈者名・産地・年月日・経歴：2025，4 矢倉氏

薬用部位・開花・採集時期：全草（つぼみをつけたものを刈り取り、2，3 日日干しして、香りが出たら風通しのよい場所で陰干し）

効能：血糖降下作用、利尿作用があり、糖尿病、浮腫、月経不順、皮膚の痒みに。

出典：奈良時代に渡来。万葉集、本草和名、倭名抄、大和本草、和漢三才図会

参考

佩蘭

[気味]辛、平

[帰経]脾・胃

[主治]化湿和中、解暑

糖尿病の予防と治療に⇒乾燥葉（蘭草）、連銭草（カキドウシ）、ビワ葉、タラノキ樹皮 5 g ずつを一日量として水 400cc で半量になるまで煎じ、一日 3 回に分けて服用します。

浮腫⇒乾燥葉一日量 10g を水 400cc で半量になるまで煎じ、一日 3 回に分けて服用します。

皮膚の痒みに⇒乾燥した全草 300～500g を、刻んで布袋に入れ浴湯料とします。その袋で痒い部分をこすると効果的です。

成分：オルトクマリン酸、クマリン配糖体、精油チモヒドロキノン、根にはオイバリン

秋の七草の一つ。中国原産で古くから日本に帰化したとの説もある。生の植物体に香りは無いが、乾燥させるとクマリン配糖体が分解してオルトクマリン酸となり、桜餅のような香りがする。